



日仏交流160周年
160^e Anniversaire
des relations
franco-japonaises

シャネル、 またはエレガンスへのパスポート ～失敗しないアクセサリの使い方～

「ラグジュアリーとは貧しさの反語ではありません。下品の反語なのです。」

「モード（流行）は流行遅れになりますが、スタイルは永遠です。」

（ココ・シャネル）

Chanel, ou un passeport pour l'élégance.

« Le luxe, ce n'est pas le contraire de la pauvreté, c'est le contraire de la vulgarité ».

« La mode se démode, le style jamais. » (Coco Chanel)



11月19日(月)18:30オープン、19:00スタート

料金：1000円

予約：11月1日(木)からアンスティチュ・フランセ東京の受付またはPEATIXまで

PEATIX：

お支払いは当日にアンスティチュ・フランセ東京の受付まで



Photo by IKEDA Hiraku

ココ・シャネル、本名ガブリエル・シャネルはフェミニスト（女性解放運動家）であり、ファッションデザイナーのパイオニアであり、女性たちに行動の自由を与え、死後45年たった今も、女性たちにモダンなエレガンスを与え続けています。

現在、彼女の後継者であるカール・ラガーフェルドは偉大と言えるほどの才能で、シャネルの哲学を継承し、毎回のコレクションではパリコレなど世界中からやってくるジャーナリストやバイヤーたちを魅了しています。

ココ・シャネルは単に才能あるデザイナーではなく、人生のスタイルから考え方までを体現しています。彼女を学ぶこととは簡単に言うと、あきらめずに頑張ることやエレガンスになるためのパスポートと言えましょう。

11月19日（月）の19時から（開場は18時半）

講演「エレガンスへのパスポート」はイメージ教材とともに、最新の（2018秋冬&2019春夏）のコレクション映像ビデオも公開します。

みなさん、お友だちを誘ってたくさんいらっしゃってください。

フランソワーズ・モレシャン

協力：永瀧達治

フランソワーズ・モレシャン

Françoise Moréchand

パリ生まれ。ソルボンヌ大学・東洋語学校日本語学科を経て来日。1964年パリに戻りレブロン、デイオール社勤務。74年シャネル美容部長として、再来日。著書『失敗しないおしゃれ』が100万部を越える大ベストセラーとなる。その後、ファッションアドバイザーとして活躍。一方で『国境無き医師団』、『世界の医療団』日本支部の創立に協力するなど社会貢献活動も続けており、その多彩な活動は〈ファッション、ダンス、音楽、映画、文学などメディアを通じてのあらゆる文化の基本はライフスタイルと偏見のないグローバルな精神を養うためにある〉というポリシーと広い意味での《国境無き》精神に支えられている。フランス政府から長年の日仏友好などの功績に対して、国家功労勲章、レジオンドヌール勲章を叙勲。2007年より金沢21世紀美術館国際アドバイザー。